



2017 年度 弥生時代講座

聞いてなっとく 弥生の世界

遺跡・遺物からみた弥生時代研究

8 月 5 日 (土) 「銅鐸を作った人々 - 弥生時代の鑄造技術と工人集団 -」

清水 邦彦氏 (茨木市立文化財資料館 学芸員)

弥生時代に開始される青銅器生産。なかでも銅鐸は現代の工人でも製作が困難なものです。

今回は鑄造実験や鑄造に関わる遺物から、当時の技術や工人集団に迫ります。

10 月 14 日 (土) 「春秋戦国時代の燕国と弥生文化」

小林 青樹氏 (奈良大学文学部 教授)

紀元前 4 世紀中頃、弥生文化は古代中国戦国の七雄の燕国と交流をはじめました。

『山海経』には「倭は燕に属す」と記載されていますが、今回は考古学的に楽浪郡設置以前の大陸との交流について考えてみます。

12 月 9 日 (土) 「調理容器からみた弥生前期文化」

妹尾 裕介氏 (滋賀県立琵琶湖博物館 学芸員)

稲作が始まった弥生時代。生活の道具である土器の使い方が大きく変わりました。

食生活がどう変わったか、当時の調理容器の機能について考えてみます。

考古学最前線に
立つ講師陣が
じっくり解説い
たします。

2018 年

2 月 17 日 (土) 「竪穴建物からみた弥生社会」

櫻田 小百合氏 (大阪市教育委員会事務局総務部文化財保護課 学芸員)

弥生時代の人々が使用した竪穴建物の形態は時期や地域により様々です。

竪穴建物に注目することで弥生時代がどんな時代であったのか考えてみます。

※全 4 回受講された方には「講座修了証」と「記念品」をさしあげます。

場 所：弥生文化博物館 1 階ホール

時 間：いずれも 14:00 ~ 16:00
(13:30 から受付)

定 員：170 名
(当日先着順 開館時より整理券配付)

対 象：大学学部生・一般市民向け
受講料：無料 (ただし入館料が必要)



大阪府立弥生文化博物館

Museum of Yayoi Culture

(指定管理：公益財団法人 大阪府文化財センター)

大阪府和泉市池上町 4-8-27 TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

ACCESS



JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約 600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR 天王寺駅から和歌山方面行 (阪和線) 快速電車
にご乗車になり、鳳 (あとり) 駅で普通電車にお乗換え
ください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」
をご利用になると便利です。
鳳から 3 駅目が信太山 (しのたけ) 駅です。



国道 26 号「池上町」交差点南西角
P 普通車 72 台 (無料)

